

# エコ・ハウスたかねざわ通信

5 月 29 日(日) 10:00~14:00 エコ・フェスタ

## 12<sup>th</sup> エコ・フェスタを終えて

まずもって、第 12 回エコ・フェスタが盛況の内に終わりましたことを心より感謝申し上げます。バラエティに富んだ団体が、エコ体験ブース、模擬店ブース、舞台を盛り上げてくださることが運営の原動力です。また、会場設営等のボランティアがあつてこそ成り立つフェスタです。各協力団体の皆様、町環境課の職員の皆様に改めて御礼申し上げる次第です。

さて、エコ・フェスタも 12 回目ということで、近年のメンバーもある程度定着しつつあります。エコ・フェスタが地域に果たす役割は、まずはエコハウスの設置目的である「環境活動の普及啓発」がございませう。そして、「地域コミュニティ創出」もふるさと未来 Sou が掲げる大きな目的です。前者につきましては、エコ体験ブースや展示を日頃エコハウスで活動していただいている団体が中心となり、充実したものになってきています。後者につきましては、ダイバーシティ(多様性)の観点から構成されていると考えています。ただ、欲を申せば、やはり「エコ」を参加団体全てが共通の理念として関わる必要性を感じています。エコハウスは「エコイベント」の推進を数年前から行っていますが、エコ食器の活用が低調であったことは否めません。もちろん、持ち帰りなどの利便性を考慮すると使い捨て容器での対応となってしまうことは当然でしょう。しかし、エコ・フェスタだからこそ、自分たちにできる「エコ」を考えた運営を自発的にやっていただけたら、さらにポジティブなフェスタになっていけると考えます。運営者である私たちも議論を重ねてまいりますので、参加団体はもとより、フェスタを楽しんでいただく市民の皆様にも今一度考えて欲しいと思います。エコバックの持参、フェスタ会場の空間で飲食も含めて楽しんでいただくなど、参加の仕方で可能になる「プチエコ」はいくらでも見つかるはず。そのような質の向上を伴うことで、エコ・フェスタが更に注目されるようにしたいですね。

フェスタに関わってくださった全ての皆様に感謝申し上げます。また来年も、お会いしましょう！

今回初めてご協力いただきました、ヤマトホームコンビニエンス様、『青空市』も大好評！



\* 紙面の都合で一部掲載とさせていただきます \*

## エコ・ハウスたかねざわ 今後の予定・募集

発行日時点の情報です。変更がある場合がありますので、お問合せください。

●エコ・アクションデー

6 月 18 日(土) 10:00~14:00

テーマ: 水辺の生き物観察会

指導: 伊村務さん

定員: 15 名程度(要申込)

対象: 小学生

参加費: 無料

持ち物: 昼食・飲み物・帽子・タオル・雨具

※野外活動に相応しい服装でお越しください。

●里山文化講座

6 月 21 日(火) 10:00~13:00

テーマ: 灰汁媒染、石灰媒染と「タンニン」

※会員のみでの活動になります。ご了承ください。

●木枠式コンポストづくり

6 月 25 日(土) 10:00~12:00

会場: エコ・ハウスたかねざわ

定員: 限定先着 5 名(要申込)

参加費: 無料

持ち物: 電動ドライバー(お持ちの方)

※汚れてもよい服装でお越しください。

●里山文化工房

6 月 26 日(火) 10:00~16:00

テーマ: アカザ灰づくり 他

会場: 大木須

※会員のみでの活動になります。ご了承ください。

●エコ・ガーデニング教室

7 月 2 日(土) 10:00~11:30

テーマ: ミニトマトの定植

※会員のみでの活動になります。ご了承ください。

●天体観察会

7 月 15 日(金) 15:00~20:30

テーマ: 太陽、月、木星、火星、土星、二重星(ミザール・アルビレオ)、夏の星座をみよう！

会場: ちよつ蔵広場

定員: なし(事前申込不要)

参加費: 無料

持ち物: 懐中電灯・デジカメ

※星が見えたら各自、現地に集合してください。



5月14日(土) 10:00~12:00 エコ・ガーデニング教室

## たかねざわのガーデニング総論

今年度のエコ・ガーデニングが始まりました。古口先生に、始めに「たかねざわのガーデニング」の総論をお話いただき、その後は恒例のミニトマトの種まきを行いました。

来月にポットに移植予定です。気候が安定しませんので、無事に育つことを祈りたいです。



5月15日(日) 10:00~16:00 里山文化工房

## 綿の種まき 他 主宰:佐々木和也先生

先月蒔いた藍の種は無事に発芽しましたが、まだ定植するまでには成長していません。今月は梅雨になる前に根を張らせるために、綿の畑を耕して種まきをしました。

また同時に「本藍染」の準備として、木灰を煮詰めて灰汁を取る作業も行いました。



5月17日(火) 10:00~13:00 里山文化講座

## 豆汁下地の基礎 他 講師:佐々木和也先生

天然染色では綿を美しく染められませんので、染められるようにするには下処理が必要です。今回は大豆から豆汁を作り、それに綿糸をひたして下処理を施しました。本来は処理をしたらすぐに天日で乾かさなければなりません。今日は雨天ですので、下処理をした綿糸は持ち帰ってもらい、しっかりと干してもらうことにしました。また、綿を紡ぐため道具、インドのチャルカを体験しました。



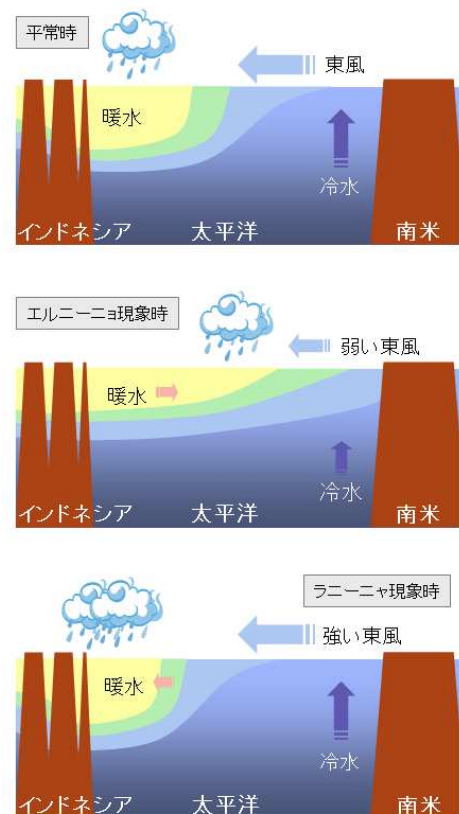
## かずやんのエコばなし 第七話「震災の教訓を忘れないで！」

今年の春はとにかく暑い。そして、春雷も少なく雨が降らない日々が続きました。春の雷は大地に窒素を供給する役割もあり、春に種を蒔く植物が育つために大切な自然の恵みです。少し前までは、自然の摂理に合った生活が展開されていました。二十四節気では、今頃を「芒種」と呼び、イネ科の植物の種を蒔く頃とされ、西日本では梅雨入りの頃を指します。これからも分かるように、雨の恵みが受けられる梅雨前に種蒔きをし、そして田植えをして十分育てて夏を迎えていたのです。現在では、稲自体が寒冷に強い品種となり、さらには灌漑施設などにより1ヶ月以上田植えの季節が早まっています。農業技術の進歩の恩恵ではありますが、1年に1回収穫するという摂理は変わっているわけではありません。季節感や旬という感覚が鈍っている現代、先人たちが刻んできた自然との付き合い方からライフスタイルの基本を学ぶことは大切だと考えています。

さて、今年にはラニーニャ現象が発生する可能性が高いという気象庁の発表がありました。エルニーニョ現象の逆で、太平洋赤道域の日付変更線付近から南米沿岸にかけて海面水温が平年より低い状態が続くことを意味します。どちらの現象が起きても、世界的に異常気象が生じるとされ、日本では夏が猛暑、冬が寒波という傾向が強まります。そのような中、東日本大震災後はじめて、政府は夏の節電協力要請を国民ならびに企業に要請しないことを決めました。理由は、全大手電気会社の管内で一定の電力が確保できる見通しが立ったからとしています。

前回、この春に始まった電力自由化の話題を取り上げ、単に価格だけが話題になり、経済上の損得だけで電力が選択されてはならないと述べました。つまり、いかに電力を使わないライフスタイルを営み、環境に配慮された電力を普及させていくことが大切だからです。そうでなければ、脱原発なんて大きな転換は心情的な範疇を越えられないでしょう。今回の節電協力要請がないというインパクトは大きいと考えています。需給バランスは経済の鉄則ではありますが、環境教育においては自然に負荷をかける人間として、いかに減量する行動を起こせるかが目標であり、その先に新しい社会システムが開けるのだと思います。足りているから節約行動を緩めるという安易な選択がなされないようにしなければなりません。

思い出してください。あの震災のときに体験した感覚を。そして、原発に依存する社会の危うさを。皆が一丸となって、東北のために協力し合った日々を。当時の高根沢町の高橋克法さんは「科学技術にしがみつき、自然に対してあまりに傲慢になっていたことを反省し、『足るを知る』ということを見直さなければならない」とおっしゃいました。まだ、たった5年しか経っていないわけです。復興もまだまだ道半ばまでも行っていない状況です。さらに、熊本地方では今も不自由な生活を送られている方がたくさんおられます。ラニーニャ現象により猛暑となることを想定して、今一度個々人ができることを確認したいものです。





5月14日(土) 13:20~14:40 主催:高根沢町夢咲くまづくり推進課

## マイ箸づくりの出前

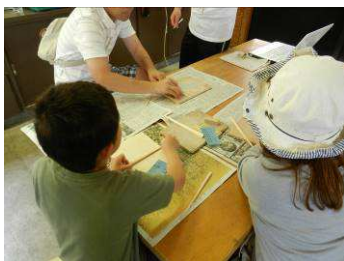
元気あっぷむらにて、たかねざわ日帰り体験ツアー『行っちゃう?たかねざわ』、午後の体験活動でマイ箸づくりをさせていただきました。

家族連れを中心に総勢 20 名、お昼のおむすび作り体験が大いに盛り上がったようで、楽しげな様子がマイ箸づくり体験においてもその雰囲気伝わってきました。

ボランティアさんにお話していただいた「環境講話」にも真剣に耳を傾けておられました。お父さんがお子さんに、熱心に講話についてのお話を説明している姿が印象的でした。

今回の体験活動を通して、ご家庭などで環境について少しでも考えていただければということ、高根沢町のいい所を少しでも発見していただけたら、と思いました。

ボランティアさんには、とても暑い中にも関わらず、今回も温かいご指導をいただきありがとうございますございました。



5月28日(土)10:00~12:00

## 市民協働型里山居場所づくり事業

今年度(平成 28 年度)は、SATOYAMA Year(里山活動の年)としています。この活動のひとつが、宇都宮大学と連携した『市民協働型里山居場所づくり事業』です。

事業のスタートとして、加藤町長のまちづくりの話をお聞きしました。これからの活動の中で、里山の居場所の提案や整備を進めていきたいと思えます。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



エコ・ハウスたかねざわ

## 平成28年5月の実績

●5月14日(土) 10:00~12:00  
エコ・ガーデニング教室 5名

●5月14日(土) 13:20~14:40  
たかねざわ日帰り体験ツアー  
出前 20名

●5月15日(日) 10:00~15:30  
里山文化工房 7名

●5月17日(火) 10:00~13:30  
里山文化講座 7名

●5月19日(木) 10:00~12:00  
古布リサイクルくらぶ 12名

●5月21日(土) 22日(日)  
10:00~16:00

アースデイ那須 リユース食器&さらピカくん2号機 貸し出し

●5月28日(土) 10:00~12:00  
市民協働型里山居場所づくり  
事業 キックオフシンポジウム 24名

●5月29日(日) 10:00~14:00  
第12回エコ・フェスタ 800名



### 5月の利用状況

- 利用者数:3,877名
- 視察・見学・体験:1件
- 部屋の利用:50件
- 売上げ:213,226円

住所 塩谷郡高根沢町大字宝積寺 2021番地15(情報の森とちぎテニスコート隣)

電話 028-680-2080 ファックス 028-675-8071

E-mail ecohouse-t@nifty.com URL <http://homepage3.nifty.com/ecohouse-t>

休館日 毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は翌日)及び祝日の翌日

開館時間 9:00~17:00 リサイクルコーナーの利用は10:00~16:00

指定管理者:特定非営利活動法人(NPO法人)ふるさと未来Sou